

第8回 カリキュラムワーキング部会 議事録

日時： 平成30年7月19日（木） 17:30～18:45

場所： 医学部長室

出席者： 秀部会長、石田、木村、小池*、坂口、谷*、服部、松下各委員

欠席者： 田中、安達、栗栖各委員

陪席者： 藤井主査（学生支援グループ）

（* 第8回ワーキング部会の委員として学生会から指名された委員）

審議事項

1) 「医学英語」に関する提言に対する対応について

- ・ 秀部会長より、教育プログラム評価委員会から3年生科目「医学英語」の改善についての提言があった旨の報告があり、現在の「医学英語」の実施状況について説明があった。
- ・ 小池委員より、学生の立場からみた現在の「医学英語」の問題点につき4点の指摘があった。谷委員より、何を行うか最初にグループで決めるようにしてはどうかとの提案があった。服部委員からは、具体的な授業内容や方法が明確に決まっていないことが問題であるとの指摘があった。松下委員からは、まず医学部として6年間で英語に関して学生に何を修得させることを目指すかを明確にし、そのうえで「医学英語」でどのような教育を行うかを検討してはどうかとの提案があった。石田委員からは、授業ごとに目標や授業内容を変えてはどうかとの提案があった。
- ・ 審議の結果、秀部会長より今後の方針として、試験を全学生同時に行うようにすること、学生を指名して当てるようにすること、平成30年度入学生から1グループを20人から10人に減らすことが示された。内容については、松下委員の方で医学部としての英語に関するコンピテンシーの原案を作成して次回のカリキュラムワーキング部会に提出し、それを基に再検討することになった。

2) 新科目「老年医学」の設置について

- ・ 以秀部会長より新科目「老年医学」の設置について発議があり、松下委員より、現在の老年医学に関する教育の現状について説明があった。
- ・ 小池委員より、統合型カリキュラムは学習効率を上げることが期待されるが、科目責任者の役割が重要であるとの意見があった。
- ・ 審議の結果、3年生の秋～冬の時期に、6～8コマ程度で「老年医学」を新科目として設置することを合意した。

3) 学会発表による臨床実習の欠席の取り扱いについて

- ・ 秀部会長より、学生による学会発表の際の臨床実習の欠席について説明があった。
- ・ 審議の結果、現在の「臨床実習での追加実習に関する申し合わせ」の末尾に、学生の学会発表に関する一文を追加することになった。申請書の提出時期は、学会に対して演題（抄録）を申し込む時とした。